

ハローワーク高松に寄せられた「就職の喜びの声」

ハローワーク高松では、就職の決まった皆様からの「喜びの声」、「就職の決め手になったこと」、「現在就職活動中の方々へのアドバイスなど、皆様の生の声を求めています。

ハローワーク高松の正面玄関に「ご利用者の声BOX」を設置し、寄せられた声のうち、公開の了解が得られている下記のものについて、庁内に掲示しております。

今般、皆様の喜びの声を広く共有するために、スタッフが直接いただいた声と併せて、このような形で、ハローワーク高松のホームページにも掲載することといたしました。

ハローワーク高松といたしましては、皆様からいただいた声を仕事の励みとして、これからもお仕事を探している皆様のお役に立てるように、スタッフ一同、笑顔で頑張っ
てまいります！

(皆様からの就職の喜びの声など)

○ 失業という、精神的にも経済的にも痛みをうけて1ヶ月は家で暗くなる日々が続いていましたが、おもいきってハローワーク高松に不安な気持ちで来て、同じ苦しみをかかえている人々の多さにびっくりしていましたが、ひとつひとつ親身に相談にのっていただき、前向きな気持ちになり、10日ほどで仕事も決まり、ほんとうに感謝しています。ありがとうございました。

皆様の笑顔に元気をもらい助けられました。

○ ハローワーク職員の方々のおかげで、就職が決まりました。まだ試用期間ですが、がんばっていきたいです。

相談窓口の方、就業前日に報告に来た際に対応していただいた方には、とても気持ちのいい対応をしていただきました。ありがとうございました。

助けてくださった皆様の為にも新しい職場でがんばります。本当にありがとうございました。

○ ハローワークの職員の方は、一人一人に親身になってお仕事の話を聞き、アドバイスをくれたり、本当にハローワークっていいもんだなあと思いました。

- 障害を抱えている人に対してすごく丁寧で嬉しい。
また、こちらの障害の症状などにも応じて対応してくれたので安心しました。
ありがとうございました。

- 今日は母の求職の為ここにふたたびやってきました。丁度、約1年前1ヶ月かけて仕事を探してました(泣)
子供が4人いるので時間、日がなかなか相手先とあわずに最後の1つとなった今の職場でようやく働かせていただくことになり、今は楽しく働かせていただいています。何度も、何人かのスタッフさんにいろいろしてもらいありがとうございました。
准看なのに求人はあってもなかなか日時の都合があわず、つらかったのではげましてくれたのは、とてもうれしかったです。

- ハローワーク就職紹介の担当皆様、大変お世話になりました。定年退職後2ヶ月たらずで再就職することが出来ました。ありがとうございます。あきらめずに週に3回程来所してパソコン画面で捜し、又職員に指導を受けました。
あきらめずに挑戦することが就職を勝ちとる近道だと思います。

(スタッフが直接いただいた声)

- いつもカウンセリングでお世話になり、ありがとうございます。なかなかお仕事が見つからず苦戦していますが、親身になって下さり、頑張っています。今回も落ちるかもしれませんが、コツコツと進みます。
いつか笑える日がくると信じています。暗いままでは、福運が来ないので。先日、後樂園のお花見をして、心がほんわかしました。母のことを思い出し、うれしかったです。

- 訓練終了後、資格を活かしたいと積極的に求職活動をされましたが、採用に結びつかず、自信を失いかけていましたが、相談窓口で、違う職種に目を向けてみてはどうか、とのアドバイスをもらい、意識していなかった職種を2社チャレンジし、両方採用をもらいました。これで「人生設計が立てられます」と嬉しいご報告を頂きました。

- 採用の喜びを伝えにご来所いただきました。50代女性、事務職ご希望でしたが年齢的な厳しさを痛感されていました。

まずは、年齢の厳しさは、ご自身を否定するものではないことを伝え、アピールする為の長所を確認する作業をしました。実力有る方なので、窓口でできたことは、自信とやる気を後押しすることのみでした。

この厳しい状況に、私自身の力不足、気力不足等を感じておりましたので、反対に求職者の方に励ましていただき、感謝でいっぱいです。

- 紹介状をもらって面接に行く際、いつも不安な気持ちで当日を迎えますが、プラザの相談窓口では、必ずと言っていい程、相談員の方が「面接場所はわかりますか？地図でお調べしましょうか？」と声をかけてくださって地図をコピーし手渡してくれるので、前回の面接では、前日に場所を尋ね、下調べをして行く事が出来、落ち着いた気持ちで面接を受ける事が出来ました。

- 50代の知的な障害のある方のケースでは、調理の求人が、一般枠で出ていた。こちらから実習を依頼し、交渉したところ、初めて障害者を受け入れて下さった。

障害者職業センターと連携し、職務試行法による実習にのせ様子を見た。ケース会議を行い、求人票の内容を障害者用に変更し、作り直し、トライアル雇用する運びとなった。

普段から利用している施設の方、就業・生活支援センターの担当者の方も含め、チーム支援該当者として、皆でかかわった。トライアル修了時に再度ケース会議を事業所で行ったが、本人がいきいきと働かれており、「皆さんのおかげで、仕事ができる本当に有難うございました。随分、成長できました。」と感謝の言葉をいただき、支援者ら皆で喜びを共有できた。また、事業者の方も障害者の方への理解が深まったと、笑顔で語って下さった。

- 本日、応募した事業所から採用の連絡があったことを窓口になんげお越し頂いて感謝の言葉とともにご報告を頂きました。

求職者の方の笑顔が、嬉しかったです。